

2016年第1回日本地球化学会評議員会議案

日時：2016年2月13日（土）13:00-17:00

場所：北海道大学東京オフィス

出席者： 塚本 尚義，平田 岳史，川幡 穂高，石橋 純一郎，井上 麻夕里，
海老原 充，鍵 裕之，小木曾 哲，下田 玄，鈴木 勝彦，橘 省吾，
谷水 雅治，谷本 浩志，中川 書子，奈良岡 浩，
野尻 幸宏，丸岡 照幸，三村 耕一，藪田 ひかる，山岡 香子，
山本 順司，吉田 尚弘

欠席者：高橋 嘉夫，益田 晴恵，張 勁

1. 審議事項

1.1. 2015年引継評議員会議事録の確認（資料01）

確認し，議事録確定。

1.2. 国際文献社との2016年度契約（資料02）

ウェブ更新に関し，国際文献から提案された3案について議論がおこなわれた。

当初案：年80回・月27,000円（前年度実績に基づく）

改訂案1：更新履歴に残る更新3,500円/件，それ以外1,000円/件

改訂案2：学会独自サーバを準備し，双方で更新

- ・当初案で契約を進めることとする

J-STAGE登録料・年会ウェブ運用に関し，新たな見積案（J-STAGE年会前登録500円/件・年会後登録250円/件，要旨集印刷をやめることによるウェブ運用費用増加）の議論をおこなった。

- ・見積案を承認し，契約を進める。
- ・J-STAGE登録は年会後の登録（250円/件）の方針。国際文献のサーバに従来通りアップされれば，学会参加者は要旨を年会中に確認可能。

1.3. 2016年度各種委員会など（議事録には委員名は掲載しない）

各委員会の委員について議論をおこない，承認された。

- (1) 学会賞等受賞者選考委員会： 承認
- (2) 鳥居基金選考委員会： 承認

(3) 名誉会員推薦委員会（任期二年）：承認

・名誉会員数は会員総数の1-1.5%を目安に議論

(4) TF2（短中期将来計画）：承認 TF5（法人化）：承認

(5) 日本化学連合理事（副会長）：承認

1.4. 日本地球惑星連合（JpGU）関連委員

JpGUの学会推薦委員について議論をおこない、承認された。

大会プログラム：石川晃（3年目）・中川書子（2年目）・黒田潤一郎（1年目）

承認

教育：瀧上豊・津野宏 →継続 承認

環境災害対応：益田晴恵 →継続 承認

ダイバーシティ推進：津野宏 →継続 承認

・ダイバーシティ推進委への追加推薦委員として、山下勝行会員（岡山大）に打診

1.5. 山田科学振興財団の2015年度研究助成候補者推薦（資料03）

・会長・副会長の審議で推薦された川本竜彦会員の申請を提案することが承認された。

1.6. 2017年年会

提案

・会期：2017年9月13日（水）～15日（金）

・会場：東京工業大学大岡山キャンパス

（ショートコースは9月12日、市民講演会は9月16日を軸に検討中）

会期・開催場所が承認された。他の学会情報があれば鈴木企画幹事へ連絡のこと。学会ウェブサイトを開催情報を掲載する。

1.7. GJ賞候補論文（資料17）

学会賞選考委員会から推薦されたHashiguchi et al. (2015) がGJ賞として承認された。

1.8. GJ賞寄付（資料04）

- ・学会から賞金の半額（16.5 万円）を負担することで、5 年間の寄付継続を依頼（名大・山本会員より）
- ・ Goldschmidt 会議での授賞式をおこなうことで、学会としての宣伝効果は大きい。学会からの賞金負担は一般会計からおこなう。
- ・賞金負担・賞金額など 5 年後に再度議論。

1.9. テラパブとの契約について（資料 05）

- ・地球化学・GJ 冊子体の販売価格変更の依頼が承認された。

1.10. 終身会員以降手続他（資料 06）

- ・終身会員申請（トータル 20 年在籍・但し継続は 15 年）→ 受入で承認。
- ・古川容子さん正会員申請。正会員として受入。
- ・終身会員・50 年会員会則英文化。実施とし、古川容子さんに依頼。

1.11. 鳥居・井上基金の運用（資料 07）

野尻評議員より「若手会員が会員相互および関係学術領域研究者と協力ネットワークを形成したりコミュニケーションを促進したりするための集会や活動に必要な経費の補助」としての運用案が提案され、議論した。

- ・運用案の大枠は承認された。
- ・申請に際しては資金計画概要（他の予算との合算など）を添付するとともに、実施後には報告書を提出すること（活動終了後、遅延なく庶務幹事に報告（活動・会計）のこと）など応募要領に加えるという提案がなされた。
- ・野尻評議員が、現在寄付を申しでている会員と協議の上、趣旨などを確認し、最終的な詰めを行うこととなった。
- ・応募要領、申請書書式などを 6 月のメール評議員会で議論・審議をおこなう。

・野尻評議員から提案された「寄付金の扱いに関する内規」についても議論があり、内規案は承認された。高額寄付金は命名基金とし運用すること、少額寄付金（サポーター資金）は一般会計に加え、地球化学の普及活動として、広報委員会が管理することとなった。

- ・少額寄付金の年会での募集方法については企画幹事、年会 LOC が検討する。

1.12. JpGU 2016 関連

- ・ JpGU ユニオンセッション：連合は環境・災害にどう向き合っていくのか？
(5/25(水)午後)での学会推薦発表者
- ・ TF 関連会合実施？
- ・ ユニオンセッションでの講演者推薦。下田評議員より篠原会員（産総研）に打診（その後、調整は不調に終わる）。
- ・ TF 関連会合は 5/22（日）に開催（平田副会長）。

1.13. Goldschmidt 2016 関連（資料 08）

- ・ 地球化学会ブース展示について、承認された。また、ゴールドシュミット基金の利用についても承認された。
- ・ 若手・学生への支援についても議論され、1. 学生会員限定とすること。2. 支援内容は来年度の会費免除。3. 応募方法・審査方法は益田ゴールドシュミット幹事に検討を依頼すること。4. 支援は最大 50 人。5. 具体案とならない場合、今回は見送ることとする。こととなった。
- ・ ゴールドシュミット LOC から評議員に対し、1. メンター登録、2. 学生ボランティアスタッフ（会場係 60 人程度。登録費無料。日当付）登録の推奨、3. トラベルグラント審査員の依頼があった場合の対応 について依頼があった。

1.14. 今期 TF の活動（資料 09）

- ・ 平田副会長から活動方針について紹介があった。
- ・ MP2017 については、寺田・角皆二案を後押しする
- ・ 会長より、会員アンケートなどは TF2 メンバーで合意のもと進めてほしい、TF メンバーが集まったの会議での議論をおこなってほしいとの要請があった。

2. 報告事項等

以下、報告に対しての議論を記す。

2.1. 庶務（資料 10）

書評担当：「気候を人工的に操作する」（野尻評議員）、「放射化学の辞典」（平田副会長）、「環境汚染化学」（奈良岡評議員）

2.2. 総務

- ・地球化学が学べる大学リストウェブの管理を継続しておこなう
- ・役員選挙ウェブ投票に際し，選挙細則の改訂が必要（6月評議員会で提案・審議）．ウェブ投票に関し，地球環境史学会，有機地球化学会，鉱物科学会に問い合わせる．

2.3. GJ（資料11）

2.4. 和文誌「地球化学」（資料12）

2.5. 企画（資料13）

- ・2018年開催地．次の年会までに候補にめどをつける．
- ・セッション構成変更に関し，企画幹事から提案

2.6. 広報（資料14）

2.7. 会計（資料15）

2.8. 会員（資料06）

2.9. GC（資料08）

2.10. 年会準備状況（資料16）

- ・年会へ韓国地質学会長（Professor HUH, Min）＋地球化学部会長（Professor YUN, Seong-Taek）を招へいする．韓国には地球化学会はなく，韓国地質学会の中に地球化学部会が日本地球化学会とMOU締結時に創設された．
- ・滞在費を支給（学会会計），旅費は先方持ち
- ・招へいに関しては，庶務および平田副会長（年会LOC）で対応

2.11. TF（資料09）

《今後の幹事会・評議員会予定》

- ・2016年第1回評議員会：2月13日（土）13:00-17:00 北大東京オフィス
- ・2016年第2回幹事会：5月下旬（候補：JpGU2016期間中に幕張メッセ）
- ・2016年第2回評議員会：メール会議、6月中
- ・2016年第3回幹事会：9月3日（土）北大東京オフィス（予定）
- ・2016年第3回評議員会：9月13日（火）大阪市立大学